

『C型肝炎治療により、B型肝炎再活性化!?!』

肝臓川柳 『再活性 対策必要 強化せい!』



強化せい…きょうかせい…きょうかんせん…共感染（の対策を!）

.....ノノノノノ

C型肝炎の治療は、

現在、経口抗ウイルス剤（DAA 製剤：Direct acting Antiviral Agents）により盛んに行われ、投与後きわめて早くウイルスが高率に消失するようになりましたが、最近、

B型肝炎ウイルスとの共感染例で、C型肝炎経口抗ウイルス剤投与後、

B型肝炎が再活性化して重症化した症例が報告されました。

以前より、

ウイルスの相互干渉作用（互いに相手のウイルスを抑える）は言われていたのですが、

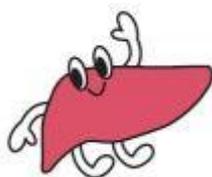
●DAA 製剤による急激なC型肝炎ウイルスの消失により干渉がはずれたためか…?

●免疫状態の急激な変化によるものなのか…?

まだ原因ははっきりしません。

しかし、免疫抑制・化学療法で現在行われているB型肝炎再活性化対策を、

DAA 製剤治療においても行う必要性が叫ばれており、当院でも対応する予定です。



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの共感染例で、

C型肝炎経口薬を投与後B型肝炎が再活性化重症化した例が報告されました。

原因はまだはっきりしていませんが、

B型肝炎再活性化対策の必要性が叫ばれています。

（文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫）